



平成 28 年 9 月 29 日

「平和宣言のことばの歴史」展を開催します

原爆投下から 70 年余り経過し、被爆された方々が減少する中、原爆に関するく語りや言葉はますます重要になってきています。また 2016 年は、オバマ大統領の広島訪問を受け、その発言にも注目が集まりました。このたび、統計学的手法を使って 1947 年から 2016 年までの歴代広島市長の平和宣言のことばを分析し、それをアニメーションで表現する展示を企画しました。

宣言のことばの分析に使われた統計学は、現在の医学および医療研究において提唱される「根拠に基づく医療」を支える基礎的な学問の一つです。最近ではビッグデータ有効活用のための道具として注目をされており、新しい使い方も模索され始めています。原爆放射線医科学研究所（原医研）にも統計学の専門家がいます。

今回の解析では、平和宣言のテキストデータ中で使用されている全単語から単体で意味のある名詞、動詞、形容詞を抽出しました。その中から使用頻度が多い順に選んだ 51 の単語をキーワードとし、それぞれの単語の使用頻度や単語間の距離（一緒に使われることが多いか少ないか）を、多次元尺度法によりグラフ化し、経年的な変化が一目で分かるようアニメーションにしました。

文章として読む平和宣言とは少し趣きが異なりますが、世界に向けて発信されている平和宣言を通して、原医研での研究の一端を知っていただければと思い、本展示を企画いたしました。広島復興の歴史が刻まれた平和宣言に触れて頂く良い機会となりますよう、皆様のご来場をお待ちしております。

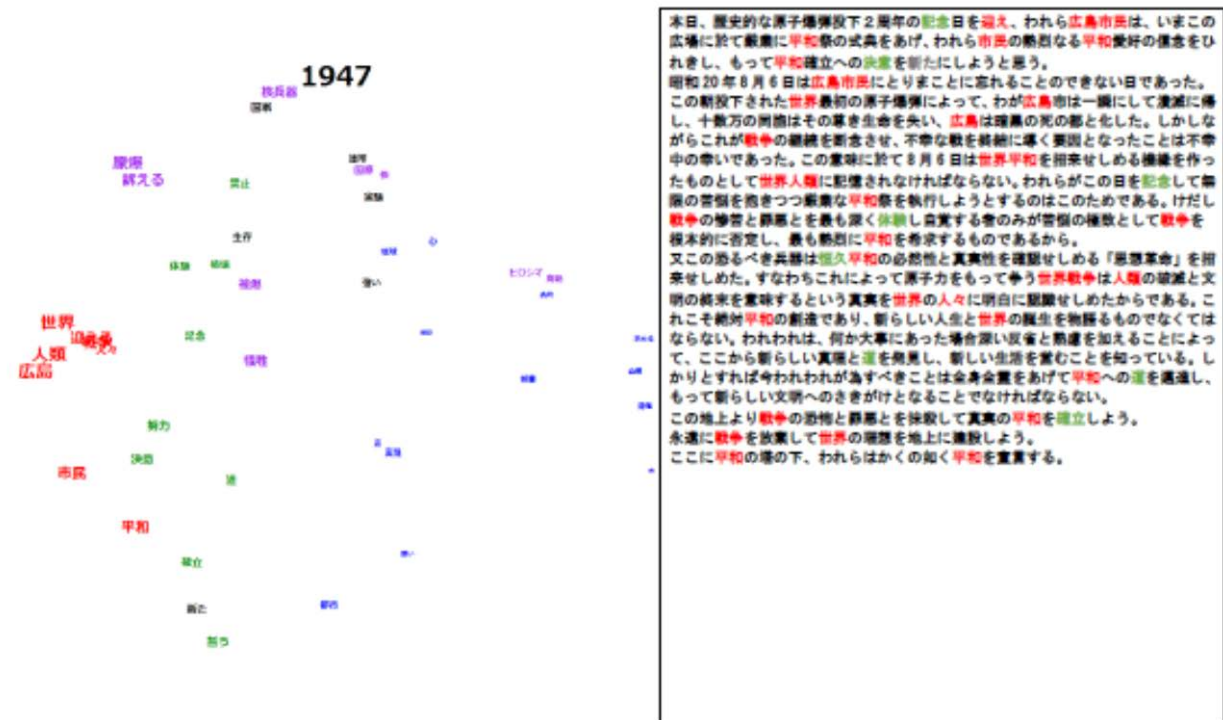


Table with 51 columns and 2 rows, likely representing the frequency or relationship data of the 51 keywords mentioned in the text.

記

- [企画名] 「平和宣言のことばの歴史」展
- [期間] 2016年10月4日(火)～2016年12月22日(木)
- [場所] 広島大学医学部医学資料館（霞キャンパス）
- [入場] 無料
- [展示内容]
 - ・アニメーション上映（2階研修室）
 - ・関連資料のミニ展示（1階ロビー）
- [企画・製作] 広島大学 原爆放射線医科学研究所
附属被ばく資料調査解析部
- [作成・展示協力] 広島大学 原爆放射線医科学研究所計量生物研究分野

【お問い合わせ先】

広島大学 原爆放射線医科学研究所 附属被ばく資料調査解析部
（久保田明子）

Tel : 082-257-5936 FAX : 082-257-5878

E-mail : kubota07@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 3枚（本票含む）

平和宣言の ことばの 歴史

広島市の平和宣言はどう語ってきたか？
アニメーションで見る 69 年のことばの歴史

2016 年 10/4(火)~12/22(木)

広島大学医学部医学資料館

企画・製作 広島大学 原爆放射線医科学研究所 附属被ばく資料調査解析部

展示協力 広島大学 原爆放射線医科学研究所 計量生物研究分野